

～～第8237回～～

燕岳～蝶ヶ岳

～H29. 7. 27-30～

津を5:00出発。八ヶ岳PAで休憩して中房温泉に向かう。到着後トイレを済ませ出発。ジグザグの登りをくり返ししながら高度を上げて行く。第一ベンチで霧雨となったので傘をさし、樹林帯の中を進む。第三ベンチでカップを着用。富士見ベンチに着くと雨も気にならなくなり昼食にする。ジグザグの急登はまだまだ続く。合戦小屋に着きトイレを済ませ、広場のテーブルでカップを干しながらスイカを食べる。ハナアブが汗のシャツに集中していた。充分休んで合戦沢ノ頭までダケカンバ・ナナカマドの道を登る。三角点に着くと展望が開ける。両側のお花畑を楽しみながら、穏やかな傾斜を登る。ガスが晴れて槍ヶ岳が見えた。燕山荘に着き生ビールで乾杯する。部屋に荷物を置き、周辺を散策。夕食後オーナーの話やアルプホルンを楽しんだ。

2日目、朝食後ガスが出ているのでカップを着用。両側の砂礫の中に大小のコマクサが咲き誇っていた。明るい稜線の高山植物を楽しみながら進む。巨岩の狭い割れ目を通る蛙岩。大下りと呼ばれる標高差100mの下降と50mの登りを過ぎ、しばらくはサイクリングロードと愛称される平坦路が続く。切通岩は鎖があり慎重に下る。少し行くと槍ヶ岳との分岐に出る。大天井岳の左を巻く様に登って行く。大天荘にザックを置き大天井岳まで往復する。トイレを借り、カップを脱ぎ出発。東大天井岳と横通岳の鞍部で昼食をとる。横通岳と常念岳が正面に見えてくると、道は急下降して、ガレた涸沢を下る。ハイマツの中を抜けて横通岳を巻き、常念乗越に下る。この付近にくるとコマクサの姿が見えなくなる。部屋に荷物を置きテラスで乾杯。残念ながら槍・穂高の山頂は見えなかった。お茶、水はポットに入れてあり自由に使用できた。

3日目、今日はいよいよ常念岳に登る。小屋の前からゴロゴロした岩の道をひたすら登る。一足ごとに高度が増していくのが心地よい。槍や穂高は見えるものの雲がかかって山頂まですっきりとは見えない。頂上で槍の穂先が見えることを願いながら登る。ついに穂先は見えなかったが、眼前に広がる穂高の峰々にほぼ満足し、下りにかかる。急な下りが続く。ハイマツ帯からガレ場をこれでもかと下り、すっかり下り足になった頃ようやく登りに入り、足が重くなってくる。樹林帯に入り、モミジカラマツがあちこちに見られた。2592m峰の近くでニッコウキスゲが見られ我々を喜ばせてくれた。この一帯はお花畑になっていてキスゲの他フウロやチドリ・クルマユリなどが咲いていた。さらに下って、次は蝶ヶ岳への登りだ。樹林帯を抜け、頂上付近は急な登りで、一足一足ゆっくりと登った。蝶ヶ岳に着いて昼食。元気を回復し、あとは比較的なだらかな道を楽しみながら、蝶ヶ岳に向かった。途中雷鳥数羽に出会って喜び半分、雨の気配を感じて、急ぎ進む。蝶ヶ岳の全容は霧でよくわからず三角点を見つけてよしとする。とにかく雨にあわずにヒュッテにたどりつけてよかった。

4日目、朝食の時雨が降っていて心配したが、やがて雨が止み、すがすがしい気分で

ヒュッテを出発できた。蝶ヶ岳の最高点(山頂)をチェックしてから、徳沢方面へ樹林帯を10分ほど下って「妖精の池」を見に行った。水面に木々が映りひっそりした感じはあったが、少し名前負けの気もした。すぐ折り返して三股方面へ向かう。今日は下りのみなので、荷物の重さも気にならない。初めはナナカマド・ダケカンバなどの灌木帯を歩き、だんだんとシラビソなどの針葉樹林帯の中を進む。ベンチやまめうち平などで休憩し疲れをとりながら三股に向かう。途中「ゴジラのような木」があって楽しませてくれた。森は広葉樹やクマザサに変わり、下ってきたことを実感する。水音をききながら三股に出て、駐車場まで歩いた。迎いの車に乗り、途中「四季の郷」で昼食と入浴を済ませ沼津にもどってきた。今回は全体として天候に恵まれず展望はよくなかったが、念願の山に登り、達成感を味わうことができたのはよかったと思う。

参加者：4名（沼津）

天候：①曇り霧雨晴れ ②曇り霧 ③曇り時々霧 ④曇り一時晴れ

地図：槍ヶ岳・信濃小倉・穂高岳・上高地

コースタイム：沼津500＝中房温泉850…第一ベンチ930…第三ベンチ1100…富士見ベンチ1140-1215…合戦小屋1250-1315…合戦沢ノ頭1350…燕山荘1500-600…常念槍ヶ岳分岐845…大天荘925…大天井岳940…大天荘955…鞍部1150-1220…常念小屋1340-540…常念岳700-20…2512峰905…2592峰1010…蝶ヶ岳三角点1215…横尾分岐1225…冥想ノ丘1255…蝶ヶ岳ヒュッテ1300-655…蝶ヶ岳山頂700…妖精の池720-25…テント場750…第二ベンチ845…蝶沢925…まめうち平1005-20…ゴジラの木1105…三股1150…駐車場1155＝四季の郷1230-1400＝沼津1750

記録：沼津支部 M. O ・ S. K